

平成31年

# 新入学(園)児童・園児の交通事故防止運動

期間 4月6日(土)から12日(金)までの7日間

2019年

# 春

# 気持ち新たに

# 交通安全!

春は、就職や転勤、進学などで身の周りの環境が大きく変わる季節です。特に今年はおよそ30年続いた「平成」という時代が終わって元号が変わり、変化をより強く感じている方も多いのではないのでしょうか。

■新たな時代を迎えた今こそ、一人ひとりが交通安全の大切さを認識し直し、事故のない安全で安心な毎日を送りましょう。



## 南達交通対策連絡協議会


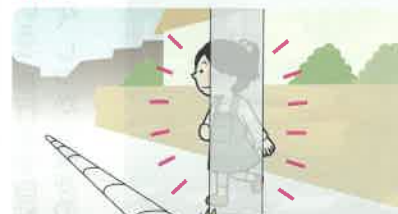
本宮市・大玉村交通対策協議会 / 郡山北警察署本宮分庁舎  
 本宮地区交通安全協会 / 本宮地区安全運転管理者協会  
 安全運転管理本宮事業主会 / 南達交通教育専門員連絡協議会  
 本宮市・大玉村交通安全母の会連合会 / 本宮市・大玉村高齢者交通安全指導隊

2019年 春の全国交通安全運動 5月11日(土)～5月20日(月)

子どもと高齢者を交通事故から守りましょう!

- 新入学(園)児などのおさない子どもは、道路での安全な行動がまだ身につけていないため、通学(園)の途中などに危険な行動をすることが少なくありません。また、高齢者の歩行者は、加齢に伴う心身機能の低下により危険な行動をしがちで、道路横断中に事故に遭う危険性が高くなります。
- 保護者や家族は、子どもや高齢者の危険な特性をしっかりと理解したうえで、子どもや高齢者に対してしっかりと安全指導・アドバイスをし、子どもと高齢者の事故防止を図りましょう。

### 子どもの危険な特性

- ①道路にとび出す… 
- ②物陰に姿が隠れやすい… 
- ③同伴者がいると、危険な行動をしがち…
- ④右・左折車に対する警戒心が乏しい…

### 子どもに対する安全指導のポイント

- ①とび出しがなぜ危険か、子どもにしっかりと理解させる
- ②物陰からの横断の危険性を理解させる
- ③信号の見方や、「青」信号でも危険があることを指導する

### 高齢者の危険な特性

- ①視線が足元に偏るなど、見えている範囲が狭い… 
- ②近づいてくる車との距離を見誤りやすい… 
- ③安全を確かめてから行動までに時間がかかる…
- ④黒っぽい服装をしがち…

### 高齢者に対するアドバイスのポイント

- ①できるだけ背すじを伸ばし、広い範囲を見渡しながら歩く
- ②車がきているときは、「まだ渡れる」と思っても、その車が通りすぎるまで待つ
- ③夜間外出時は、明るい色の服装をし、反射材も着用する

## 夜間は危険!

■夜間、歩行者や自転車からは車のライトは明るく見えますが、車のドライバーからは歩行者や自転車がよく見えません!

### 反射材を活用しましょう!



- 「反射材」は、車のライトが当たると「ピカッ」と光り、自分の存在をいち早くドライバーに知らせることができます!
- 反射材キーホルダーや反射シールなどを活用して、交通事故を防ぎましょう!





# えっ？そうなんだ！交通事故の意外な真実

■1年間に50万人以上がケガをし、3,000人以上が死亡している—という、皆さんにとって最も身近な災害ともいえる交通事故。しかし、この交通事故の発生実態について正しく理解している人は少ない…というのが実情です。

■交通事故の実態を正しく理解し、身近な脅威である交通事故を防ぐための安全通行・安全運転のポイントを習得して、しっかり実践しましょう。

えっ？  
そうなんだ！

## 自転車事故は、歩行者事故の2倍も発生！

●死亡事故に限れば、自転車事故よりも歩行者事故のほうが圧倒的に多いのですが、人身事故全体で見ると、自転車事故は歩行者事故の2倍も多く発生しています。

●自転車事故の半分以上は自転車利用者の自宅から1キロ以内の場所で発生し、特に信号がない交差点での出会い頭事故が多くなっています。



●自転車利用者は、自宅近くの通り慣れた道路でも油断せず、ふだん車あまり通らない交差点でも一時停止をし、交差点路から車がきていないか、しっかりと確かめましょう。

●ドライバーは、交差点路側に一時停止の標識がある交差点でも、自転車のとび出しに警戒し通行しましょう。



自転車のほうが一時停止を怠ったことによる事故が多い...

えっ？  
そうなんだ！

## 横断中の歩行者、左からきた車との事故が多い！

●歩行者が道路を渡り始めた途端、右からきた車と衝突するケースが多いように思われがちですが、特に死亡事故の場合、歩行者が道路を半分渡り終えたあとの横断後半、左からきた車と衝突するパターンが多くなっています。

●歩行者は、横断前に一度立ち止まり、右左を見て車がき



ていないか確かめることはもちろん、横断中も油断せず、特に横断後半は左のほうに目配りし、車が近づいてきていないか、しっかりと確かめましょう。

●ドライバーは、道路の左側だけでなく右側にもしっかりと目配りし、横断歩行者の早期発見に努めましょう。



特に夜間、右から横断してきた歩行者は、ドライバーからよく見えていない...

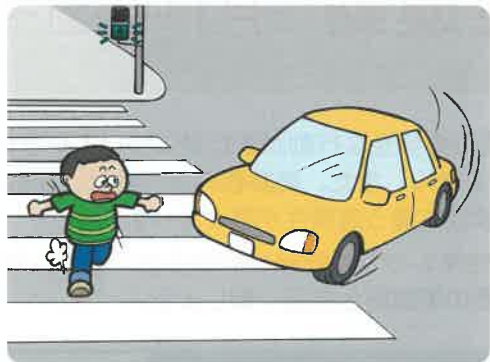
えっ？  
そうなんだ！

## 青信号なのに事故に遭う歩行者・自転車が少なくない！

●目の前の信号が「青」だと、つい油断して安全確認を怠りがちですが、特に交通量の多い街なかの交差点では、青信号で横断中の歩行者や自転車と、同じく青信号で交差点を右・左折した車が衝突する事故が少なくありません。

には渡り始めず、横断前に交差点を広く見渡して、車が曲がっていないか確かめてから横断しましょう。

●ドライバーは、交差点を右・左折する前に、進路上の横断歩道上や側方にも目配りし、交差点を横断している(しようとしている)歩行者や自転車がいないか、しっかりと確かめましょう。



並走する自転車は、車の左側方の死角に入り込んで見落とされやすい...

えっ？  
そうなんだ！

## 交通事故のほとんどは、思いのほか低い速度で発生！

●交通事故というと、スピードの出すぎなど悪質・危険な運転によるものが多い...と思われがちですが、人身事故の加害者となった車の事故直前のスピードをみると、時速40キロ以下が約90%を占めています。

●ドライバーは、スピードを出していても交通事故を起こすかもしれない...と認識を改め、その交通場面に隠れ潜んでいる危険が実際に現れても十分に対処できるスピードで走行するとともに、安全確認を怠らないことが肝心です。



ノロノロ走行中は、無意識に脇見をしてしまい、急に減速・停止した前の車に追突しやすい...

車に乗ったら、すべての座席で必ずシートベルトを着用！  
子どもにはチャイルドシートを使用！



「他人事ではない...」という意識をもつことが、交通事故防止の第一歩！